令和６年 11 月 12 日

津山街デザイン創造研究所
一般社団法人日本建築設計学会

「津山から世界へ ―津山 城東地区のまちづくりー世界的観光地を目指して」
シンポジウム開催のご案内

津山市城東地区を計画地域として、令和６年度分「観光庁・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」採択における実証実験の一環として、観光庁本村参事官はじめ、日本を代表する建築家の先生方、大学教授等で構成される日本建築設計学会の先生方が、来津され、城東地区の再生、活性化、インバウンド誘客をテーマとした、シンポジウムを下記の要領にて開催いたします。

1. シンポジウムの趣旨

●タイトル：

「津山から世界へ ―津山 城東地区のまちづくり=世界的観光地を目指して」

●実施の目的：

現在開催中の「森の芸術祭晴れの国・岡山」のポスター、パンフレットの表紙にも掲載されている「津山市城東地区」を舞台として、アートの地として注目された城東地区をさらに、観光庁採択地域計画のコンセプト「歴史と洋学のルーツが築かれた美しい建築の城下町を歴史物語の空間として再興する」の実現に向けて、シンポジウム（オンライン同時開催・開催後 YouTube に掲載）を開催いたします。

そして、当地区にある、江戸時代後期から明治・大正期にかけて近代国家の礎を築いた洋学者達の足跡を展示する「津山洋学資料館」は、スイス生まれの近代建築の三大巨匠の一人であるル・コルビュジエが設計した、上野の世界遺産「国立西洋美術館」の実施設計・監理を共同担当（前川國男、坂倉準三、吉阪隆正）した吉阪隆正が設立した U 研究室出身の富田玲子氏が設計。吉阪隆正は、津山出身の洋学者箕作阮甫の玄孫にあたり、津山に縁のある人物です。

「津山ゆかりの吉阪隆正とル・コルビュジエ」を、新たな国際的に注目を浴びるコンテンツとして、現在、出雲街道に面した津山市城東地区の大曲がりの大火事で焼失した焼け跡の敷地や空家に、ル・コルビュジエや吉阪隆正などのアーカイブを核とした現代建築デザイン研究拠点の整備を計画しています。その計画の目玉として、城東地区を、ル・コルビュジエがリノベーションした、パリ市内のセーヌ川に浮かぶ、コンクリート船の難民避難船「アジールフロッタン（仏:Asile flottant)」の復旧プロジェクト、そして、ル・コルビュジエ全集の編集拠点の地等として整備することにより、「歴史と洋学のルーツが築かれた美しい建築の城下町を歴史物語の空間として再興する」の計画とあわせ、国際的な注目を浴びる、世界的な観光地として国内外に発信、インバウンド誘客を目指した地方再生のモデル都市を目指します。

今回、シンポジウムの内容を基に動画・写真・資料編集して、３つのストーリー（洋学のルーツ・美しい建築、アートのまち・城下町の再興)、20 篇の動画として再構成し、 Instagram、YouTube、協力団体のホームページから配信します。

津山市城東地区を、全国でも稀にみる「リノベーション」の事例として、今回改装された宿泊施設(城東ホテルズ)や観光施設を含めて国内外にアピールいたします。

2. シンポジウムの概要

●内容：

「森の芸術祭晴れの国岡・岡山」の会場として、注目された津山市城東地区を舞台として、重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)における全国でも稀にみる「リノベーション」、「ブランド化」の事例を検証します。

日本建築設計学会主催により京都大学のトーマス・ダニエル研究室の協力で津山城東地区の「まちづくり」「リノベーション」の現状と実績を調査し、インバウンドを中心した「津山から世界へ ―津山 城東地区のまちづくり=世界的観光地を目指して」及び、上述の、「津山ゆかりの吉阪隆正とル・コルビュジエ」をテーマとし、関係する有識者が集い、これからのまちづくり、誘客に向けての提案を行います。

●シンポジウム開催概要(プログラム)

11 月 23 日(土)

13 時会場

13 時 30 分　●主催者挨拶　　山本昇津山街デザイン創造研究所長

●共催者挨拶　　谷口圭三津山市長

遠藤秀平日本建築設計学会会長

●来賓挨拶(予定)　平沼正二郎衆議院議員

本村龍平観光庁参事官

伊原木隆太岡山県知事

中島完一津山市議会議長

13 時 50 分　●はじめに　　洋学資料館紹介

津山市（洋学資料館）

14 時 20 分　●基調講演 1　「ル・コルビュジエと吉阪隆正、由来の地・津山城東の建築の価値」

倉方俊輔（建築史家、大阪公立大学教授）

15 時 00　●基調講演 2　「津山城東を世界と繋ぐ　リノベーションの可能性」

遠藤秀平（建築家、神戸大学名誉教授、日本建築設計学会会長）

※フランス、ル・コルビュジエ財団から津山へのメッセージ

※アジールフロッタン復旧プロジェクトに向けて、仏マクロン大統領からのメッセージ

※アジール・フロッタン物語映像紹介（ティザー／監督：越前屋俵太）他

15 時 40 分　　休憩

15 時 50 分　●パネルディスカッション

テーマ 「津山から世界へ ―津山 城東地区のまちづくり=世界的観光地を目指して」

登壇者：

本村龍平観光庁参事官（国土交通省）

トーマス・ダニエル（建築批評。京都大学教授）

倉方俊輔（建築史家。大阪公立大学教授）

遠藤秀平（建築家。神戸大学名誉教授。日本建築設計学会会長）

川西敦史（建築家。岡山大学大学院環境生命自然科学研究科准教授）

コーディネーター

山本昇(津山街デザイン創造研究所　所長)

16:30　閉会

主催：津山街デザイン創造研究所

共催 :津山市　日本建築設計学会

日時：2024 年 11 月 23 日　13:30-16:30

場所：津山洋学資料館

協力団体・企業：ル・コルビュジエ財団　Echelle-1 合同会社(ル・コルビジュジエ図面版権所有会社)

リストワールインターナショナル　銘建工業　ダブルスタイル・エイト

後援(予定)：山陽新聞社　津山朝日新聞社　テレビ津山　津山市観光協会　津山商工会議所

※併設イベント

「第 10 回アーキテクツ・オブ・サ゜・イヤー　アンダーリノベーション　津山巡回展」

～特別展示　ル・コルビュジエ設計アジールフロッタン　津山城東地区地域再生核施設提案

11 月 17 日(日)～12 月 1 日(日)

会場　津山市城東ギャラリー飯田

津山市中之町 39

入場料　無料 12 時～17 時

企画　京都大学ダニエル研究室

主催　一般社団法人日本建築設計学会

共催　津山街デザイン創造研究所

3　登壇者プロフィール

遠藤秀平
建築家。神戸大学名誉教授。日本建築設計学会会長。一級建築士。
主要作品スプリングテクチャー播磨、筑紫の丘斎場、ビーンズドーム、富士山ワイナリーなど日本を代表する現代建築家であり、前衛的デザインは世界的に注目されている。現在、ル・コルビュジエがリノベーションしたセーヌ川に浮かぶコンクリート船「アジール・フロッタン」の修復を主導している。
著書『Paramodern Architecture/ Electa』『アジール・フロッタンの奇蹟Ⅱ』ほか多数
受賞　アンドレア・パラディオ国際建築賞　芸術選奨文部科学大臣賞新人賞（文化庁）
日本建築学会教育賞　ベネツィアビエンナーレ金獅子賞　BCS 賞他多数受賞

倉方俊輔
大阪公立大学教授。建築史家。日本建築設計学会理事。
日本近現代の建築史の研究と並行して、日本最大級の建築イベント「東京建築祭」の実行委員長、「イケフェス大阪」「京都モダン建築祭」の実行委員を務めるなど、建築の価値を社会に広く伝える活動を展開している。著書に『吉阪隆正とル・コルビュジエ』『伊東忠太建築資料集』『東京モダン建築さんぽ』『京都 近現代建築ものがたり』ほか多数。日本建築学会賞（業績）、日本建築学会教育賞（教育貢献）、グッドデザイン賞グッド・デザインベスト 100 など受賞。

トーマス・ダニエル
京都大学教授。専門：国際建築批評。日本建築設計学会理事。
ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、オランダ、マカオを経て、現在京都市に在住。世界中の建築事務所や大学で勤務し、2018 年 1 月より京都大学教授。現代日本の建築物の発展に関する理論的理解と批判的立場を、アート、デザイン、文化、政治、経済の広い範囲から研究している。

山本 昇
津山街デザイン創造研究所所長。
株式会社リストワールインターナショナル代表取締役。
早稲田大学マーケティングコミュニケーション研究所招聘研究員。
2019 年、『津山街デザイン創造研究所』を設立。所長として「津山を武道の世界の聖地に」、「美作国アートゾーン構想」、2022 年及び 2024 年に観光庁公募事業で採択された「津山市城東重要伝統的建造物群保存地区・地域一体型観光推進事業」、津山国際環境映画祭総合プロデューサーとして「滞在型映画芸術文化都市・津山」等の活動を推進。
著書 2021 年「小説岡山県立津山高等学校」、2022 年「小説早稲田大学」執筆。

[補足事項]
日本建築設計学会　https://www.adan.or.jp/

※日本建築設計学会は、2009 年から始まった日本最大の設計課題のコンテスト「建築新人戦」を運営してきた KASNET(Kansai Architecture School Network)を母体として生まれた。2014 年に一般社団法人化し学会組織として設立。
国内の主要な建築家、建築系大学・教育関係者が会員である。竹山聖名誉会長と遠藤秀平会長が主となって設立を推進した。日本建築設計学会は、コロナ禍以前には毎年アジアの建築学生を対象としたワークショップを開催していた。今回のシンポジウムを契機として津山を中心とした建築ワークショップの再開・開催を計画している。
２０２０年にセーヌ川に浮かぶコンクリート船（ル・コルビュジエが１９２９年にリノベーションを行い、当時弟子入りをしていた前川國男が担当した）を引き取り、フランスの文化財として後世に引き継ぐための修復を進めている。

【お問い合わせ先】

津山街デザイン創造研究所
〒708-0834　津山市中之町８－１
TEL 0868-20-1781
nobo@po1.dti2.ne.jp

担当　山本